

出版物の主に日本国内の海賊版の被害実態について

2013年6月24日

一般社団法人 日本書籍出版協会

(1) 刑事事件

【刑事事件の留意点】

- i) 告訴人は全て著作権者（権利者）
- ii) 案件ごとに法定代理人（弁護士費用）が必要
- iii) 罰金は国庫へ。告訴人には支払われない

侵害による損害賠償を希望するなら、民事訴訟を起こすしかないが、ほとんどが支払い能力のない個人。

- iv) 委任状には著作権者の本名を明記する必要がある（法廷で開示される）

特にiv)は、公判では、被告人はもちろん、メディアや傍聴人にも開示されるため、本名を明かしたくない著作権者の場合、告訴を断念することも多い。

参考：プロバイダ責任制限法に基づく削除依頼

インターネット上の海賊版対策において、違法ファイルの送信可能化状態の時間と被害の拡大は等比級数的に増大するため、最も効果的な、そして現在の主力の対策は、違法ファイルをいかに迅速にインターネット・サービス・プロバイダ（ISP）に削除させるかである。しかしISPと著作権者等権利者の関係を定めたプロバイダ責任制限法において、権利侵害されているファイルの削除を要請できるのは著作権者のみで、出版者にその適格はない。実際に、集英社が、あるISPに弊社発行の出版物の侵害ファイルについて削除を求めたところ、「著作権者の適法な委任状」と「著作権者自身を証明するための免許証またはパスポートの写し」を要求され、その手続のために、ファイル削除に長期間を要した。現行制度においては、彼らの要求は適正といわざるをえない。しかし、有象無象のISPに免許証やパスポート等の高度な個人情報を開示することをためらわない著作権者の方がどれくらいいるだろうか。

①ファイル共有ソフト（Winny, Share, PerfectDark）

【ファイル共有ソフトにおける不正ファイルの流通】

上記3ソフトの利用者のほとんどは日本人であり、日本のISP（インターネット・サービス・プロバイダ）を利用する。度重なる刑事摘発とISPを経由した啓発メール活動で、最盛期の5〜3割に減ったといわれるファイル共有ソフトだが、その不正ファイルの流通量は、依然膨大である。

Winny

ノード数 約2万台/1日、流通するファイル全体の42.75%が著作物と推定される。無許諾で送信されていると推定されるものが96.44%を占める。

Share

ノード数 約5.9万台/1日、流通するファイル全体の49.25%が著作物と推定される。無許諾で送信されていると推定されるものが96.98%を占める。

PerfectDark

ノード数 約3.4万台/1日、流通するファイル全体の60.70%が著作物と推定される。無許諾で送信されていると推定されるものが96.11%を占める。

※ノード数：ネットワーク上でファイル共有ソフトに接続している機器、主にPC台数

（コンピュータソフトウェア著作権協会2013年1月のクローリング調査資料による）

【過去のファイル共有ソフト関連の刑事事件例（コンピュータソフトウェア著作権協会HPより）】

2013年

日付	容疑	ソフト	作品	鑑定
5月20日	漫画を違法アップロード、男性を送致	Share	「ハチワンダイバー第2巻」	(株)集英社
4月15日	漫画を違法アップロード、男性を送致	Share	「銀魂46巻」	(株)集英社
2月22日	漫画を違法アップロード、男性を逮捕	Share	「Q.E.D.証明終了」第37巻	(株)講談社
2月22日	漫画を違法アップロード、男性を逮捕	Share	「はじめの一步」第99巻	(株)講談社
2月22日	漫画を違法アップロード、男性を逮捕	Share	「進撃の巨人」第7巻	(株)講談社
2月19日	漫画を違法アップロード、男性を逮捕	Share	GANTZ 第10巻	(株)集英社
2月19日	漫画を違法アップロード、男性を逮捕	Share	名探偵コナン74巻	(株)小学館
2月21日	漫画を違法アップロード、男性を逮捕	Share	「GANTZ」第358話「鋼鉄マーチ」	(株)集英社
2月21日	漫画を違法アップロード、男性を逮捕	Share	「浅尾さんと倉田くん」 Phrase.7「思案」	(株)スクウェア・エニックス
2月21日	漫画を違法アップロード、男性を逮捕	Share	「ユーベルブラット」Die Helden 《英雄たち》V	(株)スクウェア・エニックス
2月20日	漫画を違法アップロード、男性を逮捕	PD	ケメコデラックス! 第1巻	(株)アスキー・メディアワークス

2012年

日付	容疑	ソフト	作品	鑑定
7月30日	漫画を違法アップロード、男性を送致	Share	「名探偵コナン74巻」	(株)小学館
7月10日	漫画を違法アップロード、男性を送致	Share	「ONE PIECE」(第65巻)	(株)集英社
6月1日	漫画を違法アップロード、男性を送致	Cabos	※「ONE PIECE」第471話～第480話	(株)集英社
3月21日	漫画を違法アップロード、男性を送致	Share	「沈黙の艦隊」第1巻	(株)講談社
			「ゴッドハンド輝」第1巻	(株)講談社
3月1日	漫画を違法アップロード、男性を送致	Share	「僕は友達が少ない+」(第4話)	(株)集英社

※コミックス「ONE PIECE」第49巻収録分の第471話～第480話を、コミックス発売に先駆けて雑誌各話のスクリーンデータを元にまとめたデータ。

2011年

日付	容疑	ソフト	作品	鑑定
11月10日	漫画を違法アップロード、男性を送致	Share	「そらのおとしもの」(第11巻)	(株)角川書店
			「このSを、見よ!」(第2巻)	(株)小学館
10月17日	漫画を違法アップロード、男性逮捕	Share	「機動戦士ガンダム THE ORIGIN」第1巻	(株)角川書店
			「ケロロ軍曹」第1巻	(株)角川書店
			「ONE PIECE」第58巻	(株)集英社
7月7日	漫画を違法アップロード、男性を送致	Share	「Kiss×sis」第6巻	(株)講談社
5月18日	漫画を違法アップロード、男性を逮捕	Share	「苺ましまろ」	(株)アスキー・メディアワークス

1月12日	漫画を違法アップロード、男性を逮捕	Share	「魔法先生ネギま！第30、31巻」	(株)講談社
			「名探偵コナン 第68巻」	(株)小学館
1月11日	漫画を違法アップロード、男性を逮捕	Share	「BLOODY MONDAY 第11巻」	(株)講談社
			「医龍 第20巻」	(株)小学館
1月14日	漫画を違法アップロード、男性を逮捕	Share	「ONE PIECE 第608話」	(株)集英社
1月14日	漫画を違法アップロード、男性を逮捕	Share	「バガボンド第1巻」	(株)講談社
			「機動戦士ガンダム THE ORIGIN 第1巻」	(株)角川書店
1月12日	漫画を違法アップロード、男性を逮捕	Share	「BLEACH 第425話」	(株)集英社

②その他の刑事事件例（コンピュータソフトウェア著作権協会HPより）

- ・自炊代行業を自称する業者の著作権侵害事件

2013年5月1日 「漫画コミックの海賊版販売、男性を逮捕」（大人買い電子化サービス）

「ONE PIECE 第1巻」ほか9作品	(株)集英社
「ベルセルク 第1巻」ほか9作品	(株)白泉社

- ・出版物の紙面をスキャンして無許諾で商品化・販売したもの（グラビア関連が多い）

2012年

日付	容疑	出版物	鑑定
11月19日	タレント写真が無断複製された壁掛け時計を販売、男性を送致	「AKB48 総選挙！水着サプライズ発表 2011」	(株)集英社
11月1日	タレント写真の無許諾抱き枕カバーを販売、男性を送致	「AKB48 総選挙！水着サプライズ発表 2011」	(株)集英社
8月29日	タレント写真が無断で謄写されたライターを販売、男性を送致	「AKB48 総選挙！水着サプライズ発表 2011」	(株)集英社
8月7日	タレント写真を無断で販売、男性を送致	「週刊ヤングマガジン」(2011年4月11日号)	(株)講談社

珍しいMEGAUPLOAD（サイバーロッカー）での逮捕例。

2011年2月8日 「MEGAUPLOAD」で漫画を違法配信、男子学生を逮捕

「ぬらりひよんの孫」(第11巻)	(株)集英社
「SKET DANCE」(第14巻)	(株)集英社
「エデンの檻」(第8巻)	(株)講談社

(2) アプリによる著作権侵害

主に、Apple AppStore、Google Play Store における違法アプリ。

違法アプリには以下のようなタイプがある。

- ・「電子書籍タイプ」書籍データを内蔵した実質的な電子書籍
- ・「ビューワタイプ」外部サーバに蔵置した違法ファイル（海賊版サイト）を閲覧するためのビューワ（本棚）
- ・壁紙（誌紙面のトレース）
- ・ゲーム・アプリ

アプリ販売開始の初期（2009年頃）、Apple は「デベロッパ（アプリ開発者）が権利処理していることを前提としている」という姿勢を崩さず、クレームをデベロッパに転送することしかしなかった。また、デベロッパからは「根拠となる権利を示せ」とか「正式な許諾の下でアプリを販売したいので、ビジネスの交渉をしよう」などの返事を返すことで時間を稼ぎアプリを売り続ける、などの対応が頻発した。

現在は、ビジネスチャンネルでの交渉と、コンプライアンス意識の高まりからか、相変わらず時間はかかるものの（かならず上記の手順を踏むため）最終的には Apple 主導で削除に対応するようになってきている。Google は比較的柔軟に削除に応じるが、より違法アプリをアップしやすいサービスを提供しているため、違法デベロッパが流れやすい（実例参照）。また、アプリ販売期間中の損失は補填されない（違法デベロッパの“売り逃げ”）。

【AppStore 〈実例〉】

- ・2010年11月 村上春樹「1Q84」日本語版アプリ 230円
村上春樹「世界の終わりとハードボイルドワンダーランド」日本語版アプリ 230円
中国語版アプリ、ドイツ語版アプリも。
- ・2010年11月 東野圭吾「容疑者Xの献身」日本語版 115円 中国語版多数
- ・2010年12月 「看漫画」多数の漫画中国語版スキャンレーション（中国在サーバにデータ蔵置）のビューワ
- ・2013年1月7日付メールによる削除要請例（4アプリ）
 - 「ドラゴンボール」の英語スキャンレーション
 - 「スラムダンク」の英語スキャンレーション
 - 「愛漫画」多数の中国語スキャンレーションのビューワ・アプリ
 - 「乐看动漫」多数の中国語スキャンレーションのビューワ・アプリ→2013年6月 Google Play Store

※昨年1年間の集英社からの削除要請メールは、約90件。1件のメールで、上記のように複数の削除を含む場合が多い。

【Google Play Store 〈実例〉】

- ・2010年12月 東野圭吾「白夜行」中国語版
 - ・2011年1月 ibuka(布卡漫画): 中国海賊版サイト JoJoHot のビューワ・アプリ
 - ・2011年11月24日付メールによる削除要請例（壁紙、パズル等9アプリ）
 - android_app_name_1: スーパーHD NARUTO・ナルト・壁紙
 - android_app_name_2: NARUTO・ナルト・疾風伝パズル
 - android_app_name_3: NARUTO・ナルト・パズルと壁紙
 - android_app_name_4: naruto puzzle
 - android_app_name_5: 驚くべきナルト HD / HQ Wallpape
 - android_app_name_6: NARUTO・ナルト・ジグソーパズルプロ
 - android_app_name_7: NARUTO・ナルト・壁紙ギャラリー
 - android_app_name_8: NarutoRandomDefence
 - android_app_name_9: Naruto Quiz
 - ・2012年11月15日付メールによる削除要請例（ビューワ3アプリ）
 - android_app_name_1: One Piece Tube
 - android_app_name_2: One Piece Connect
 - android_app_name_3: One Piece Reader
 - ・2013年6月 「乐看动漫」多数の中国語スキャンレーションのビューワ・アプリ←AppStore から移行
- ※昨年1年間の集英社からの削除要請メール約130件（ただし、窓口が共通のため Blogspot（ブログ）も含む）

(3) 早売り・ネタバレ・絵バレ・スキャンレーション

早売り 2008年後半くらいから、漫画のインターネット侵害において、漫画雑誌を配本の早い小売店から入手して、公式発売日より前にアップロードする「早売り」と言われるタイプが急激に増えている。

ネタバレ 一般に、テキストであらすじを書いたもの。

絵バレ 雑誌面をスキャンした画像。

ただし、ネタバレを装って、そのテキストの各所に、画像データをリンクさせたものもある。

早売り・絵バレにも「オンライン・リーディング」と「リーチサイト」がある。

オンライン・リーディング



サイトにアクセスすれば、そのまま漫画が閲覧できる。

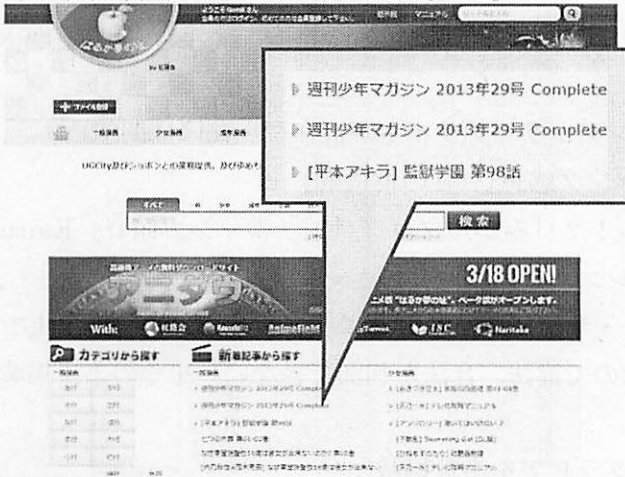
日本国内でも、稀に発生するが（「ジャンプ フラゲ基地局 blog.livedoor.jp/hunj 2013年4月）、国内ISPや国内サーバは迅速に削除するようになってきたため、現在はほとんど海外（サーバ）運営のもの。中国に多かったが、最近では、タイ、ブラジル等にも現れている。

ちなみに、「ジャンプ フラゲ基地局」についての Live Door!へのサイト凍結要請に対する回答は「…（違法ファイル）につきましては、送信防止措置が講じられておりますので、ご確認くださいませようお願いいたします。また、ブログ開設者宛てには、今後、適切な管理を行うよう注意喚起を促しました」（プロガー保護の名の下にブログそのものは閉鎖しない。）

リーチサイト

違法ファイルは外部サーバのデータ・ストレージサービス（オンラインストレージまたはサイバーロッカーと言われる）に蔵置。サイト上に作品タイトル（テキスト）を並べ、外部サーバの当該作品ファイルとリンクさせている。閲覧したければ、リンクを辿って、外部のサーバから違法ファイルを一旦ダウンロードする必要がある。ここでいうサイバーロッカーは、URLさえわかれば、不特定多数がアクセス可能なサービス。

現在最も悪質な国内リーチサイト「はるか夢の址」



連載漫画を雑誌表紙サムネイルで表示「無料漫画ダウンロード」



上から「マーガレット」、「近代麻雀」、「別冊マーガレット」

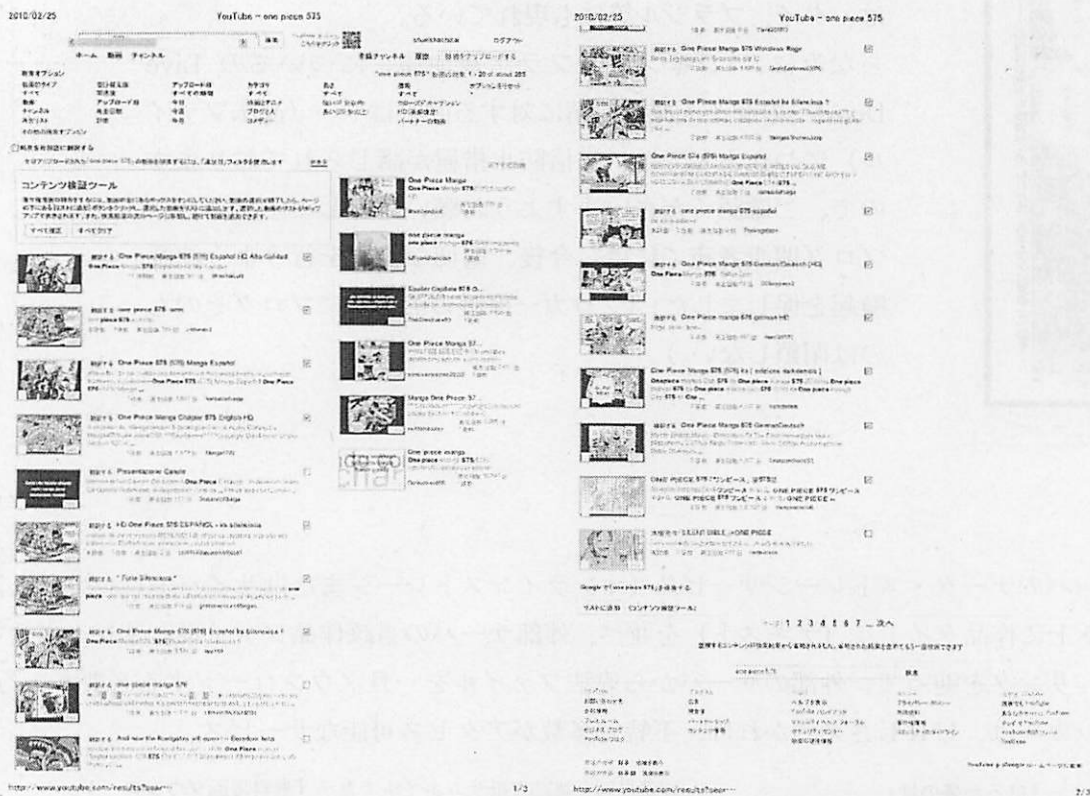
スキャンレーション

漫画のスキャン画像（日本語）は「Raw Manga」と言われる。これを、勝手に各国語に翻訳して、あたかも漫画の翻訳版のように加工したもの。やはりオンラインリーディングとリーチサイトがある。元データ（Raw Manga）は、「日本でスキャンしたデータを直接海外の海賊版業者に送る」「日本の海賊（主にリーチサイト運営者）がサイバーロッカーにアップしたデータをダウンロードし、加工して再アップ」の2つの経路があると推測される。もちろん、最初のスキャンは日本国内でなされる。

スライドショー

2010年頃 YouTube を中心に、「スライドショー」と称する漫画をスライドで閲覧させる動画の投稿が大流行した。Google が迅速な削除ツールを提供したことと、著作権侵害で逮捕者まで出したことから、現在は下火になっている。

最盛期のスライドショー。「ONE PIECE 575(話)」での検索画面の一部。結局、この日だけで101動画を削除。最も再生回数が多かったものは、1ファイルで1,053,143回再生されていた。



【過去のインターネット侵害事例】

- ・2009年~2011年の悪質な国内ブログ（オンラインリーディング、リーチサイトが混在。現在ほぼ閉鎖）
「AAA~悠久の風~」「紅蓮の炎~SSS~」「週刊少年ジャンプ感想」「紅の枢機卿」
「To Love る・とらぶる・考察」「ハヤテのごとく!!!に恋してるっ!?!」「みかんブログ」「☆一番マンガ館☆」「Kairu いるか」「ごちゃまぜ ROOM」「桃くま」「他力本願2」「トレント祭り」他
- ・2010年11月 百度（バイドゥ）ジャパン ライブラリー・サービス：検索ロボットでインターネット上で自動収集したPDFデータ（検索ロボットなので違法、合法を判別できない）をそのまま掲載（漫画、雑誌多数）。
- ・2012年5月 「しのびー☆のブログ」週刊プレイボーイ他グラビアを多数掲載。

【現在も活動中の悪質サイト】

- ・「はるか夢の址」「Little Caesar」「Big Ceasar」「UGCity」（以上紅籍会系または提携のリーチサイト）

※紅籍会は、漫画やアニメを違法にアップロードする複数のサイトを取りまとめている日本最大手の集団。ただし、それなりの理論武装をしているため、我々が把握できる情報の限りでは、脱法ではあるが、違法とまでは言いきれない。「紅籍会はインターネット上のあらゆるサービスを統括し、ネット社会を裏から支え、利用者に感謝されるような充実したサービスの提供を目的」とする「ネットワーク・エンタテインメント・グループ」とHP上で公言している。

- ・「漫画全巻トレントジップ」他

【海外のスキャンレーションサイト】

- ・リーチサイト 「Manga Zone」「COMIC DOWN FUN.COM」「MANGA ZIP」「MANGA CITY」
- ・オンラインリーディング 「SEN MANGA」「看漫画」「DD TODO」「MANGA ID」

【北米におけるコミック被害推定額（株式会社講談社提供による「北米における MANGA の侵害状況」〈2012 年度〉）】

過去 5 年間（2007～2011）の違法コンテンツ（雑誌・単行本）が英語版単行本で販売されたと仮定した場合の推定損失額は、1,500～3,000 億円に上る。

【オンラインリーディング、リーチサイトのマネタイズ】

オンライン・リーディングの主な収入源は、アフィリエイト広告による広告収入と推測される。

リーチサイトの収入源は、広告収入以上に、サーバーロッカーからの「ダウンロード報奨金」が大きいと推測される。

「ダウンロード報奨金」は、サイバーロッカーが、「ダウンロードされた数に応じて、そのファイルをアップロードした者に分配するお金」。もともと、サイバーロッカーが、人気のあるファイルを集めるために作った仕組みで、当該ファイルが違法であるとか猥褻であるとかを問わない（というより、効率よく人気のある違法ファイルを集めることを目的としていると思われる）。

マネタイズの点からも、また、「早売りデータ」のアップロードやサイバーロッカーから削除されたファイルの再アップロードのスピードからも、リーチサイト管理者・運営者は、ほぼ間違いなくリンク行為だけでなくアップロードも行なっていると推測される。しかし、「(明白な著作権侵害となる) アップロード行為は行っていない」と自称しており、現状それ以上の踏み込んだ情報は得られない。

海賊版サイトは、かつて「ファンサブ」と呼ばれた。しかし、現在の海賊版は、ファン心理からの自発的行為とはかけ離れた「ビジネス」となっている。

【手口が多様化する海賊版への対策】

安価で高性能なデジタル機器やソフト（スキャナー、画像編集ソフトなど）、次々と提供される新手のインターネット・サービス（オンライン・ストレージ、SNS等）は、それ自体は快適なインターネット環境のために好ましいことかもしれない。しかし、インターネット侵害・海賊版は、それらを組み合わせて「違法ではない脱法行為」の仕組みを次々と編み出してきた。今後も、新たな手口が現れてくるだろう。

※Reupload.me 最近確認された新手のインターネット・サービス。複数のサイバーロッカーへのアップロードを代行する。つまり、我々がサイバーロッカーから違法ファイルを削除しても、違法ファイルをアップロードした者に代わって即時に再アップロードしてくれる。さらに、いちいちサイバーロッカーにファイルをアップロードするのではなく、ファイルは Reupload サーバに蔵置したまま、サイバーロッカーにリンクをはっているのではないかと我々は推測

している。いわばサイバーロッカーのクラウド・サービス。この場合、リンクを付け替えるだけなので、再アップロードよりもはるかに迅速に処理できる。ただし、Reuploadは、公衆送信しているわけではないので、「Notice and Take down(通告を受けたら削除)」の義務を負わない。そもそも、Reuploadのファイルが違法かどうかを確認する方法がない。このサービスが増えれば、現在リーチサイトへの唯一の対策であるサーバーロッカーへの削除要請が機能しないおそれがある。

また、インターネットにおける侵害は、裁判管轄と言う問題が常につきまとっている。

ただ、日本はもちろん世界中の海賊版の元データは、ほとんど(雑誌は100%)、日本国内でスキャンされている。大元の複製を止められれば、最も効果的であることは明らかである。日本国内の海賊版のスキャンを監視・摘発することは、単に法改正で解決する問題ではないが、少なくとも執筆に忙しい著作権者個人が解決できる問題ではない。日本国内での不正な複製行為を防ぐための法制度の整備を強く望む所以である。

【データとお金の流れ】

データ → データ代金 → DL報奨金 → アフィリエイト広告 →

